

平成24年度 第23回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成25年2月9日(土)

【男子】1回戦 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第4試合

八王子学園八王子 (東京都)	99	}	81	慶應義塾 (神奈川県)
		{		
		30 - 19		
		25 - 17		
		24 - 23		
		20 - 22		

八王子学園八王子

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4	新号 健															
5*	安藤 俊樹	21	1	7	8	12	2	3	0	0	0	0	1	2	0	0
6*	清水 太一	3	0	0	1	2	1	2	4	6	2	8	0	0	0	6
7*	ソレイマンゲイ	30	0	0	14	28	2	3	1	6	14	20	2	0	1	1
8	宮崎 一誠	9	3	9	0	1	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0
9*	野間進太郎	10	0	5	4	9	2	3	1	0	1	1	1	1	0	0
10	青木 涼太	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0
11*	高橋 雄太	18	2	6	5	7	2	4	2	0	2	2	2	1	0	1
12	久米 真司	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	山田 航大															
14	石丸 達也	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	小貝 涼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
16	小林 一輝	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
17	伊藤 駿	5	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	石田 信幸	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
HC	石川 淳一/TEAM									0	2	2				0
チーム		96	7	31	33	64	9	15	12	13	23	36	7	5	1	9

*スターティングメンバー

確率 22.6% 51.6% 60.0%

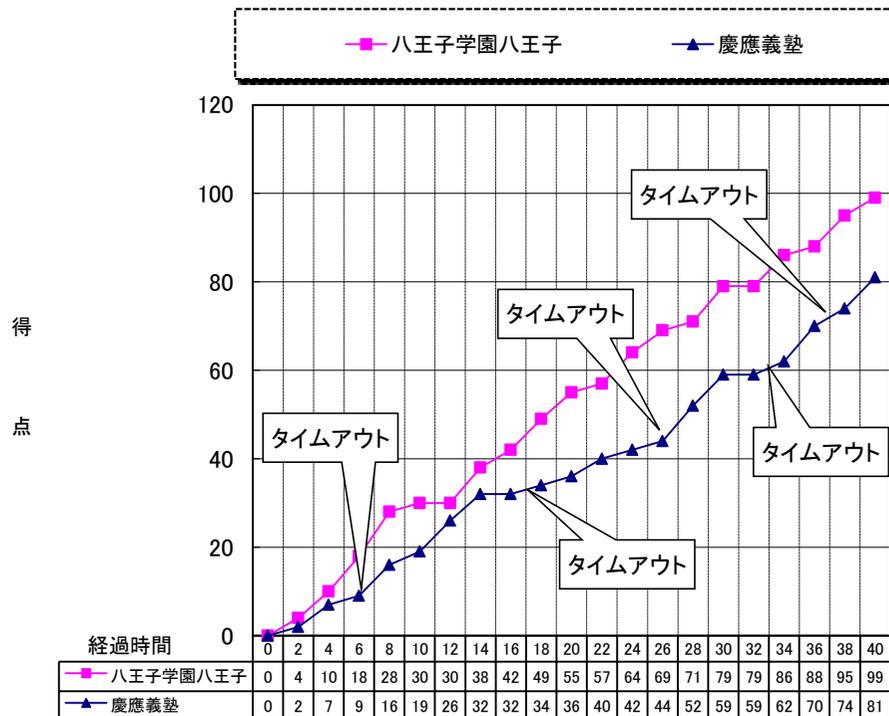
慶應義塾

番号	氏名	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4*	瀧澤 秀星	4	0	2	2	4	0	0	2	1	7	8	5	2	0	6
5*	須賀 公佑	24	2	4	8	16	2	5	2	1	3	4	3	1	0	4
6*	高橋 晃史郎	13	0	3	6	19	1	1	3	2	11	13	7	2	1	6
7*	堂本 阿斗	25	1	3	11	30	0	1	3	8	4	12	5	2	0	3
8	笹岡 裕之	7	0	0	3	3	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1
9	小坂 哲生	2	0	0	1	1	0	2	1	1	3	4	0	0	0	0
10*	林 源	6	1	1	1	1	1	2	2	0	5	5	1	0	0	1
11	諸橋 和紀															
12	浦 貴幸															
13	福井 駿太															
14	大串 駿翔															
15	田中 友基															
16	奥泉 亮															
17	古川 達也															
18																
HC	阪口 裕昭/TEAM									0	0	0				0
チーム		81	4	13	32	74	5	12	14	13	34	47	22	7	1	21

*スターティングメンバー

確率 30.8% 43.2% 41.7%

2分毎による得点の推移



戦評

1Qお互いマンツーマンディフェンスでスタート。八王子は⑦ソレイマンゲイを起点にオフェンスを展開する。一方、慶應は⑩林などのミドルシュートで対抗する。中盤、八王子⑩高橋がスティールやドライブなどで連続得点をし、18-9となったところで、慶應たまたまずタイムアウト。しかし、その後も八王子のペースは変わらず、八王子30-19慶應で1Q終了。

2Qの序盤は慶應⑦堂本のシュートが入り出し点差を詰めるが、八王子も⑦のリバウンドシュートなどで対抗する。その後、八王子は強固なディフェンスで相手に簡単なシュートを打たせず、スティールからの速攻や3Pなどで徐々に点差を離していく。八王子55-36慶應で前半終了。

3Qに入り、慶應⑤須賀のシュートが連続して決まるが、八王子も⑩のドライブなどで得点し、一進一退の攻防が続く。八王子⑧が連続して3Pを決め突き放すと思われたが、⑥高橋のバスケットカウントなどで慶應も粘る。結局点差はほとんど変わらず、八王子79-59慶應。

最終Qに入り、お互いディフェンスを頑張り、得点がなかなか入らない。慶應⑥のバスケットカウントや⑤のジャンプシュートが決まりだし追い上げは始めるが、八王子も⑦を中心に落ち着いたバスケットを展開する。結局最終ペースを乱さないバスケットを続けた八王子が勝利した。

主審	手塚清孝	第1副審	分部勝規	第2副審	—	記入者	澤田昌宏
----	------	------	------	------	---	-----	------